

1、滝谷川で学習。小学校の総合学習支援が続く（7月2日）



▲ 村松小の滝谷川の水生昆虫調べ

◆ トゲソの会では、毎年市内小学校6校の3年生から5年生の総合的学習の支援をしています。今年は5月末から7月10日までに26回の学校支援をしてきました。

その中で村松小学校4年生は、学校近くの滝谷川中流部で水生昆虫を調べ、川の汚れや水質判定をしています。今回も7月2日に実施しました。結果はカワナナやコオニヤンマが多く見付き、水質階級Ⅱの「ややきれいな水」と判定されました。

この結果は2015年度「水生生物調査結果」として環境省ホームページ（下記アドレス）で公開さ

れています。 <https://www2.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/>

この他、トゲソの会では6/19に南小学校5年生、6/22は五泉小学校4年生の郷屋川生き物調べを支援しました。東小学校では7/8に学校前の太田川で生き物調べの手伝いをさせていただきました。

2、川東中学校生徒さんが江ざらい作業に参加。感謝。（7月19日）

◆ 毎年行っているトゲソ生息水路の江ざらい作業に地元川東中学校の生徒と先生方の力強い応援がありました。

この応援は、昨年から続けていただいているもので、2回目となります。

7月19日、日曜日に校長先生を始めとして中学校の先生とボランティア部生徒さんが応援に来てくれました。

トゲソの会では、地元の農家組合さんと一緒に猿和田地区のドロ上げをしています。しかし年々、高齢化により手伝いが困難となってきていました。

この水路は外来種のコカナダモが繁殖してから環境が次第に悪くなってきていました。どうしたら良いかと苦慮していたところでした。中学校の皆様には、休日にもかかわらず応援をいただき感謝申し上げます。これで、少しはトゲソが元気に生息を続けていくことができると思います。



▲ 慣れないドロ上げ挑戦の中学生

3、豊栄児童センターさんの川遊び支援（8月4日） ★夏の川遊び第1弾

◆ 毎年、新潟市北区にある豊栄児童センターさんは早出川に来ていただいております。今年も8月4日にバスで「川遊び体験」に来られました。児童センターに通う小学生と保護者、職員スタッフの皆さん約40名でした。

準備体操後、ライフジャケットを着けて川流れの体験をしました。また、カジカ捕りをして楽しみました。子ども達はすぐに「カジカを捕ったぞー」と誇らしげな叫びを上げていました。

昼食後はスイカ割りをして川の楽しさを満喫しました。今回は、トゲソの会に寄付されたカヌーを運び試乗してもらいました。水が少なかったのが残念でしたが、今年も楽しんでもらえたようです。



4、夏の早出川清流スクールを開催(8月9日)★夏の川遊び第2弾

◇ 8月9日日曜日に恒例の「夏の早出川清流スクール」が開かれました。

昨年は台風の影響で中止となってしまいました。天候不順で、今年はどうなるかな?と心配していましたが幸いに絶好の日となりました。しかし、7月末からの快晴続きで川の水量が不足し、十分な水位が確保できず苦労しました。

当日は、準備体操から始まりカヌーとカジカ捕りのグループに分かれ始めました。参加者は110名余りと盛会でした。

今年は、新潟県環境対策課と五泉市環境保全課の協力により「水環境ふれあい教室」を開催できました。これは身近な水環境を学ぶため、COD簡易パツクテストで早出川の汚れを測ろうと実施したものです。比較的きれいな「COD2」という判定ができました。「カジカ捕り」では、タマ網を使って参加者は上手に捕ることを覚えました。

カヌー体験では、家族用の2人用カヌーも用意し家族で楽しんでもらいました。ご協力をいただいた地元カヌークラブ、NPO法人新潟水辺の会の皆さん、ありがとうございました。



▲ SLが走る早出川でカヌー体験



▼ 右写真 ↓ カヌーの練習
▼ 左写真 ↓ 川流れ 魚とカジカの説明

5、善願橋下の夏休み親子探検隊(8月23日)★夏の川遊び第3弾



◆8月末に早出川の善願地区で、生物多様性保全ネットワーク新潟の主催する「夏休み親子魚探検隊」が実施されました。五泉トゲソの会は共催でお手伝いしました。

早出川は水遊び場が多数あり、善願地区もその一つです。当日は、カジカ捕りとボート遊びなど水あそびを行いました。漁業組合さんからは投網を見せてもらいました。

ただ、夏の渇水により大変水が汚れており、残念でした。特に、川底に浮遊する泥が溜まっていました。早出川ダムを管理する新潟県に聞いたところ、降雨による流入量が少なく、農業用水を流すとほとんど下流に水が流れない状況が続いた、とのことでした。漁協さんは、川に水を流すよう要望されているとのことでした。

それでも多くの魚が捕れ、多様性ネットの指導員から捕れた魚の解説があり、早出川の生き物について学習をしました。



▲ 捕れた早出川の魚を解説してもらおう

6、南区根岸地区、夏休み「水路のお魚調査」を支援 (8月24日)

◆新潟市南区で根岸地区保全会、コミュニティ協議会、白根郷土地改良区が主催する「水路のお魚調査」がありました。

理事2名が指導者として、子どもたちの魚捕りやワークショップの手伝いをしました。

この事業は毎年行っているもので、地元の根岸小学校の子共たちを中心に夏休みの魚捕りを楽しみました。水の抜いた農業用水路に入り、魚の捕獲を行いました。とれた魚や亀などは、その場で名前や生態などが説明されました。クサガメの臭いを嗅いだ子どもは「クサイ！」と悲鳴を上げていました。公民館で昼食を食べ、生息した魚の学習をしました。



▲水路で捕れた魚の説明をする

7、五泉市生涯学習フェスタに参加。トゲソを展示する。(9月6日)

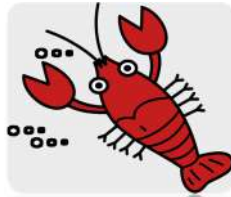
◆五泉市の生涯学習フェスティバルが9月5日に総合会館中ホールで開催されました。今年は、連年と比べ1ヶ月早く場所が中ホールと変更になりました。

参加団体は市内で活動する生涯学習団体です。1年間の成果と市民に活動を紹介するために開催しています。今年で13回目でした。

トゲソの会は1回目から参加しています。トゲソの展示と恒例の「アメリカザリガニ釣り」をしました。会場では、サークル



の音楽発表やパネル展示がおこなわれ、多くの市民の皆さんが訪れていました。当会では、展示とあわせ、トゲソ保護の商品販売などを行いました



▲ 左:トゲソの水槽を展示

右:初めてザリガニを釣れたよ!

8、五泉トチ守りの会が坂田家の大トチを見学する (9月19日)



★五泉トチ守りの会では毎年巨木探訪をしています。今年、坂田家の大ケヤキ見学に訪れていただきました。訪問した6人の方は五泉市3番目のケヤキや坂田家の建物内部を見学していかれました。その後、馬下の佐藤家の庭を見学されるとの事でした。



▲ 坂田家の幹周り 5.15mの大けやきを見学

▲ 「トゲソのたもて箱」予約受付中

今後の行事予

◎トゲソの新米(10月中旬) サイモ(11月初旬)を発送します

- ★10月14日(水) 村松小 トゲソと水の総合学習発表会 14時より
- 10月24日(土) トゲソの水路生息数調査 土堀倉庫前集合 9時~16時頃まで
お昼がでます。胴長・手網がある方はご持参ねがいます。
- 11月7日(土) 連合下越地協 構成員の家族サイモ堀 13時より

■ 特定非営利活動法人 五泉トゲソの会 理事長 高橋荘三
事務所 住所 959-1645 五泉市土堀 295 番地 月・水・金 午後在宅
電話 0250-47-4439・FAX 0250-47-4440 メール togeso@jeul.ocn.jp
事務局 住所 956-0862 新潟市秋葉区新町 2 丁目 8-10-1 中村吉則方
電話・FAX 0250-22-0271 メール togeso@beige.plala.or.jp
■ ホームページ <http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm>
五泉トゲソの会は Facebook で発信しています。 <https://www.facebook.com/togeso>